

1. 計画地域の概要

1-1. 計画地域の概要

(1) 計画地域の概要

中播磨地域（市川流域圏）（以下、「計画地域」という）は、天川流域、西浜川流域、八家川流域、市川流域、野田川流域、船場川流域、夢前川流域、汐入川流域、大津茂川流域等で構成され、主に姫路市、高砂市、朝来市、市川町、福崎町、太子町、神河町の3市4町にまたがる地域であり、総人口約59.5万人（平成22年10月現在）、面積は、約907km²で県土全体の10.8%を占めている。

計画対象河川一覧

対象河川		法河川 延長 (km)	流域面積 (km ²) ※1	関係市町 ※2
水系	河川			
天川	天川 (あまかわ)	18.720	50.3	姫路市 高砂市 (加古川市) (加西市)
	思出川 (おもいでがわ)	3.233		
西浜川	西浜川 (にしはまがわ)	1.941	4.7	姫路市 高砂市
八家川	八家川 (やかがわ)	4.480	12.8	姫路市
市川	市川 (いちかわ)	77.554	506	姫路市 福崎町 市川町 神河町 朝来市
	神谷川 (こたにがわ)	5.295		
	須加院川 (すかいはがわ)	5.160		
	恒屋川 (つねやがわ)	9.190		
	恒屋川放水路 (つねやがわほうすいろ)	0.533		
	矢田部川 (やたべがわ)	3.690		
	平田川 (ひらたがわ)	7.840		
	西谷川 (にしにがわ)	2.900		
	七種川 (ななさがわ)	6.682		
	雲津川 (くもづがわ)	3.020		
	岡部川 (おかべがわ)	11.235		
	小畑川 (おほたがわ)	5.045		
	尾市川 (おいちがわ)	1.875		
	振古川 (ふるこがわ)	4.355		
	振古川放水路 (ふるこがわほうすいろ)	0.173		
	甲良川 (こうらがわ)	1.590		
	越知川 (おちがわ)	22.460		
	東山川 (ひがしやまがわ)	2.090		
	猪篠川 (いざさがわ)	8.082		
	追上川 (おいはげがわ)	2.650		
	小田原川 (おだわらがわ)	12.100		
	太田川 (おおたがわ)	5.315		
	犬見川 (いぬみがわ)	6.921		
栃原川 (とちはらがわ)	5.709			
倉谷川 (くらたにがわ)	1.487			
白口川 (しろくちがわ)	3.695			
油谷川 (あぶらたにがわ)	1.386			
野田川	野田川 (のだがわ)	3.635	7.1	姫路市
	外堀川 (そとほりがわ)	2.663		
船場川	船場川 (せんばがわ)	11.572	18.2	姫路市
	大野川 (おおのがわ)	3.948		
夢前川	夢前川 (ゆめさきがわ)	39.667	202	姫路市
	水尾川 (みずおがわ)	8.850		
	大井川 (おおいがわ)	4.000		
	菅生川 (すこうがわ)	24.738		
	坪川 (つぼかわ)	5.180		
	護持川 (ごじがわ)	3.258		
	明神川 (みょうじんがわ)	3.483		
	西山川 (にしやまがわ)	2.443		
	寺河内川 (てらこうちがわ)	3.796		
汐入川	汐入川 (しおいらがわ)	3.380	6.4	姫路市
大津茂川	大津茂川 (おおつものがわ)	18.608	54.3	姫路市 太子町 (たつの市)
	西汐入川放水路 (にししおいらがわほうすいろ)	0.323		
	西汐入川 (にししおいらがわ)	5.118		
	網干川 (あほしがわ)	1.566		

※1：100km²以上は、整数止め、100km²未満は小数第1位で表示
計画地域には、河川流域以外に、海への直接流域が含まれる

※2：法定河川区間が含まれている市町

() 書きは、流域のみで法定河川は含まれていない市

(2) 土地利用・地形

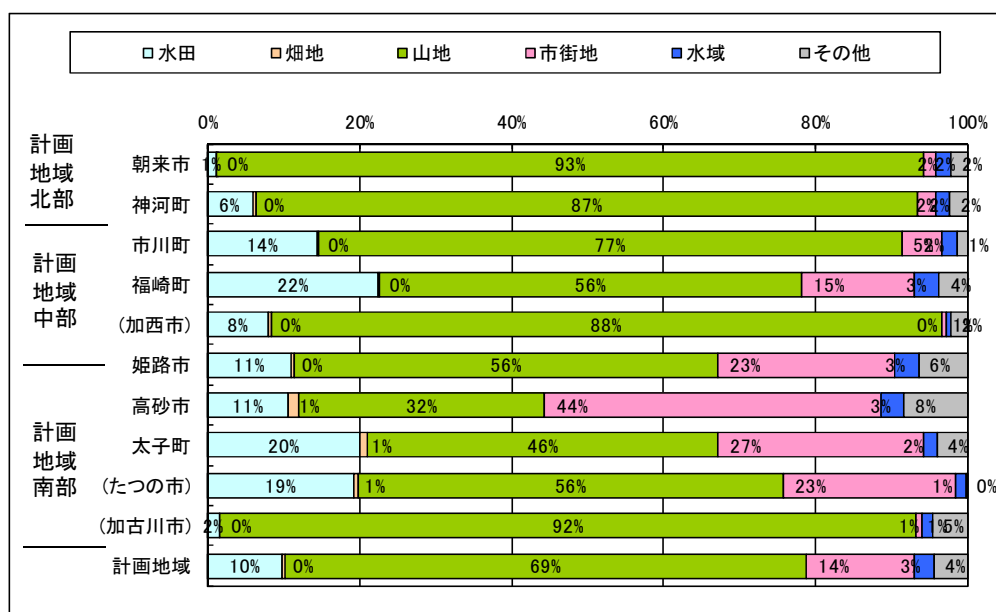
計画地域は、山地が大部分を占めている一方で、南部の臨海部は播磨工業地帯を形成する等、市街地があり、美しい自然やたくましい産業活動にあふれる色彩豊かな地域となっている。

計画地域内には、国道2号、中国自動車道、山陽自動車道等の幹線道路や、JR山陽新幹線、JR山陽本線、山陽電鉄等の鉄道が東西に延びているほか、播但連絡道、JR播但線が南北を結んでいる。また、河口部の姫路港は国際拠点港湾に指定されており、海運交通の要衝となっている。

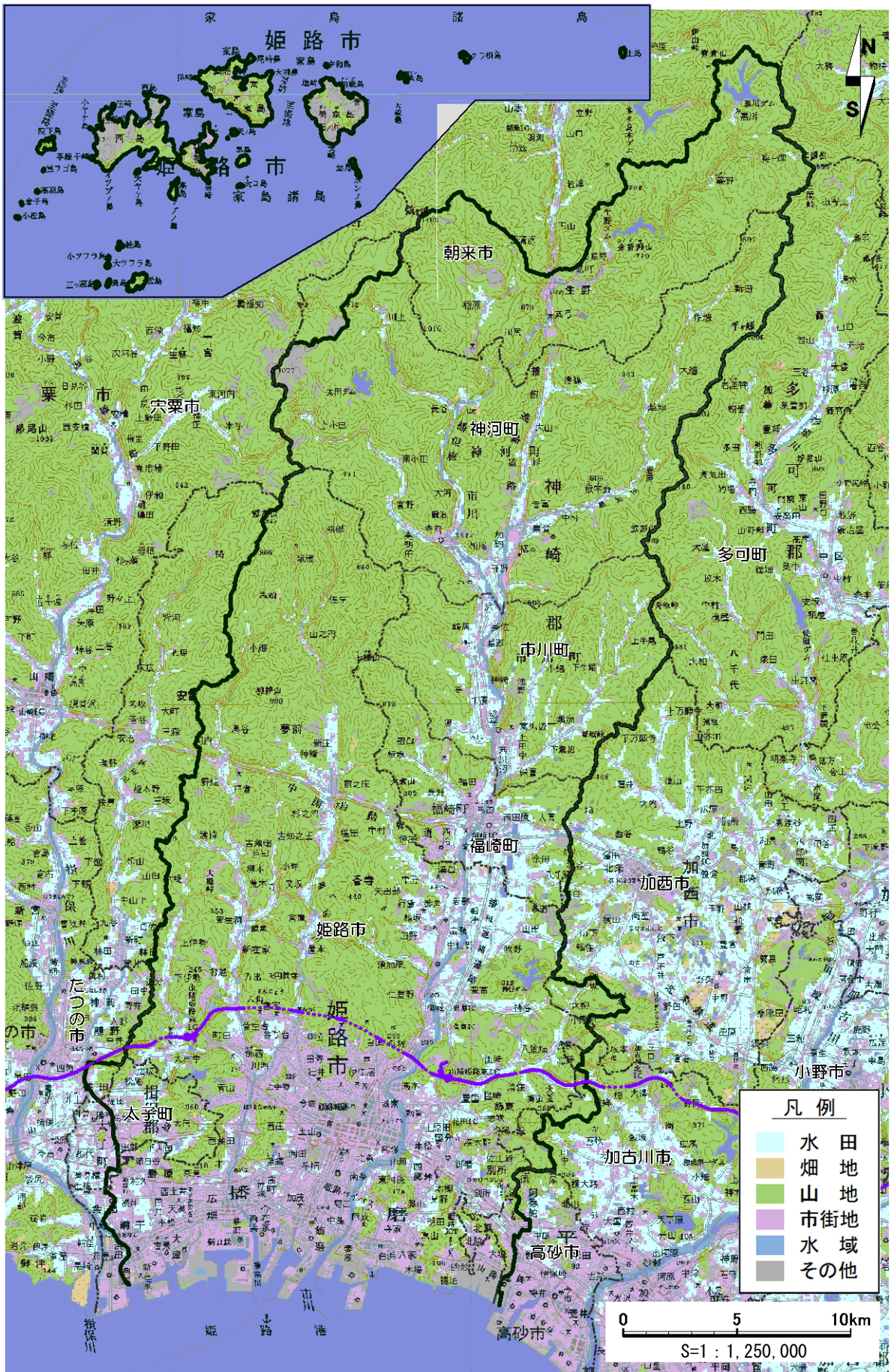
計画地域内の土地利用別面積

市町名	計画地域内の土地利用別面積 (km ²)						合計
	水田	畑地	山地	市街地	水域	その他	
朝来市	1.2	0.0	96.0	1.6	2.1	2.3	103.2
神河町	11.4	0.8	168.0	4.7	3.3	4.5	192.7
市川町	11.9	0.1	63.5	4.4	1.6	1.1	82.7
福崎町	10.4	0.1	25.6	6.8	1.6	1.7	46.1
(加西市)	0.3	0.0	3.8	0.0	0.0	0.1	4.3
姫路市	49.1	2.1	250.5	104.6	13.9	29.0	449.3
高砂市	0.5	0.1	1.6	2.2	0.2	0.4	5.0
太子町	3.2	0.2	7.3	4.2	0.3	0.6	15.7
(たつの市)	0.3	0.0	1.0	0.4	0.0	0.0	1.7
(加古川市)	0.1	0.0	5.8	0.1	0.1	0.3	6.4
合計	88.4	3.4	623.2	129.1	23.0	40.1	907.1

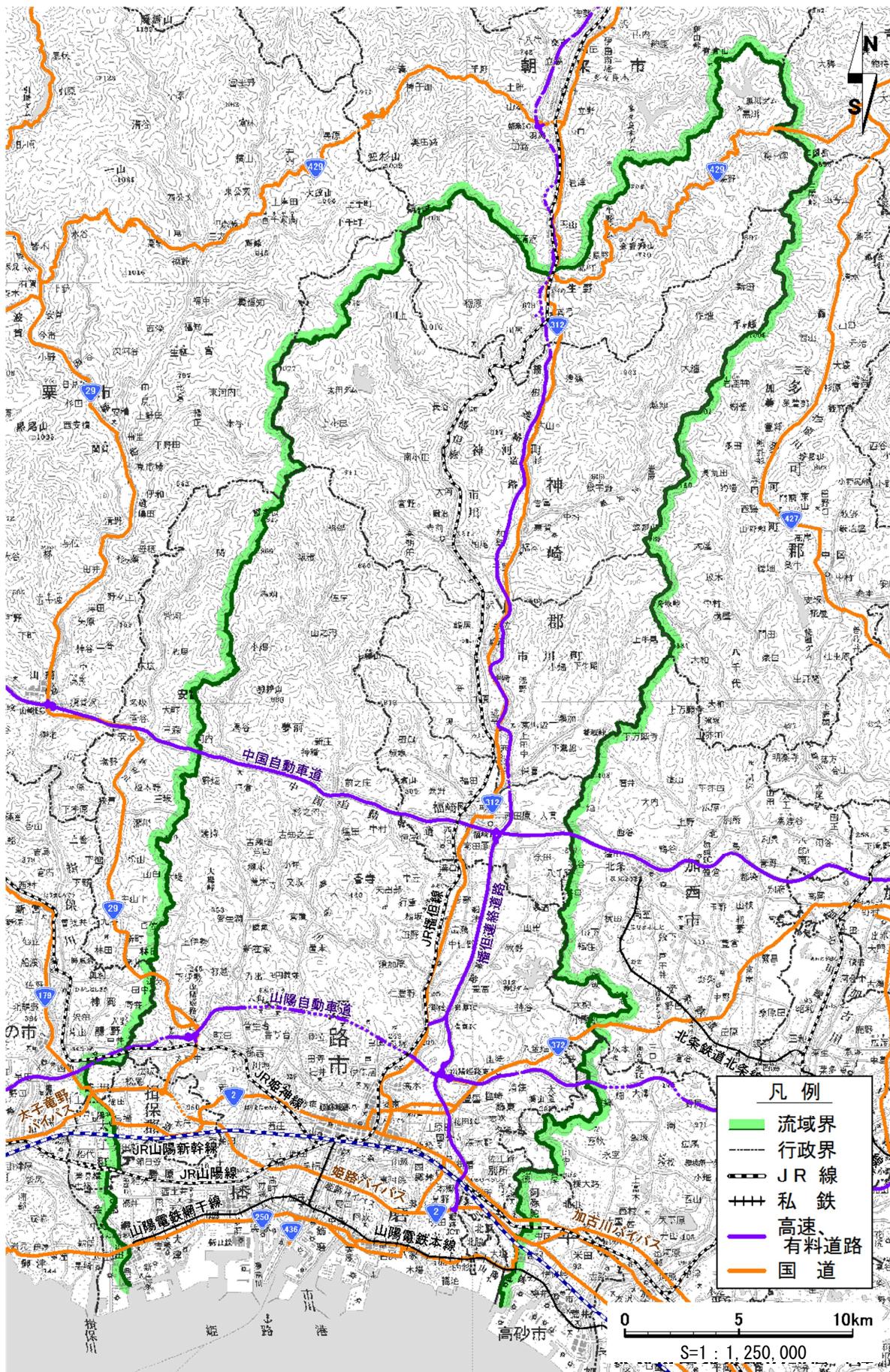
※ () 書きは、流域のみで法定河川は含まれていない市



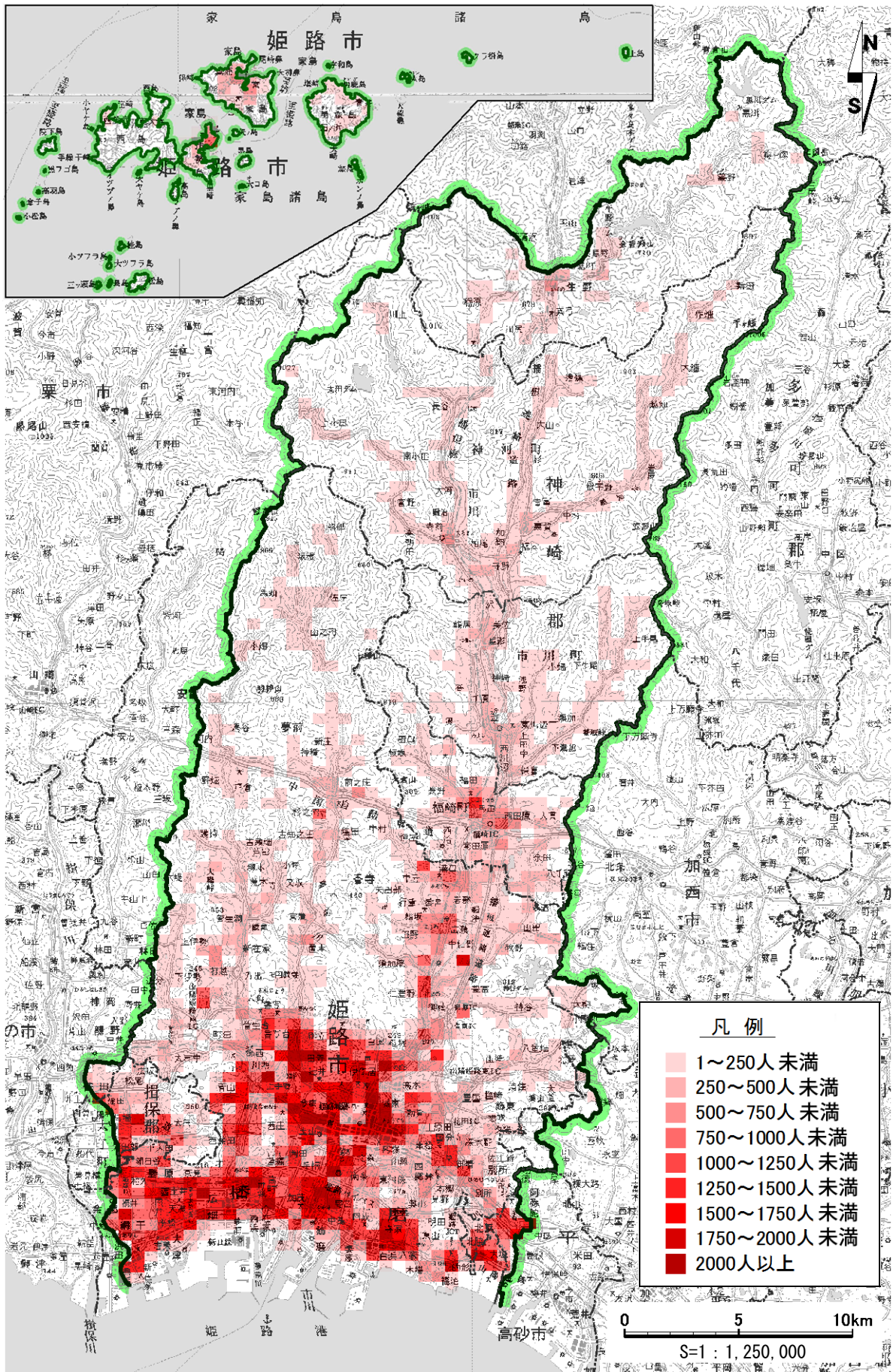
土地利用割合 (平成 21 年)



出典：平成21年 国土数値情報 土地利用データ
土地利用分布図



交通網図



出典：平成22年国勢調査 世界測地系500mメッシュ

人口分布図

【計画地域：北部（朝来市、神河町）】

地形は、標高 800m～1,000m 級の山地が連なる急峻な山岳地形からなり、川沿いに狭い谷底平野が見られる。

地質は、主に中世代白亜紀後期の火山活動により造られた堅硬な流紋岩類（生野層群）により形成される。



【計画地域：中部（市川町、福崎町、姫路市北部²⁾、加西市*）】

地形は、標高 200m～500m 程度の小起伏山地及び丘陵地形と礫岩・砂岩等が堆積した谷底平野からなる。

地質は、主に中・古生代に堆積したものが固結した堆積岩類（丹波帯）により形成される。



【計画地域：南部（姫路市南部³⁾、高砂市、太子町、たつの市*、加古川市*）】

地形は、市川や夢前川等の河川から運搬された土砂が堆積した扇状地と河口部のデルタ地形で、地形の一部に大起伏丘陵地が見られる。

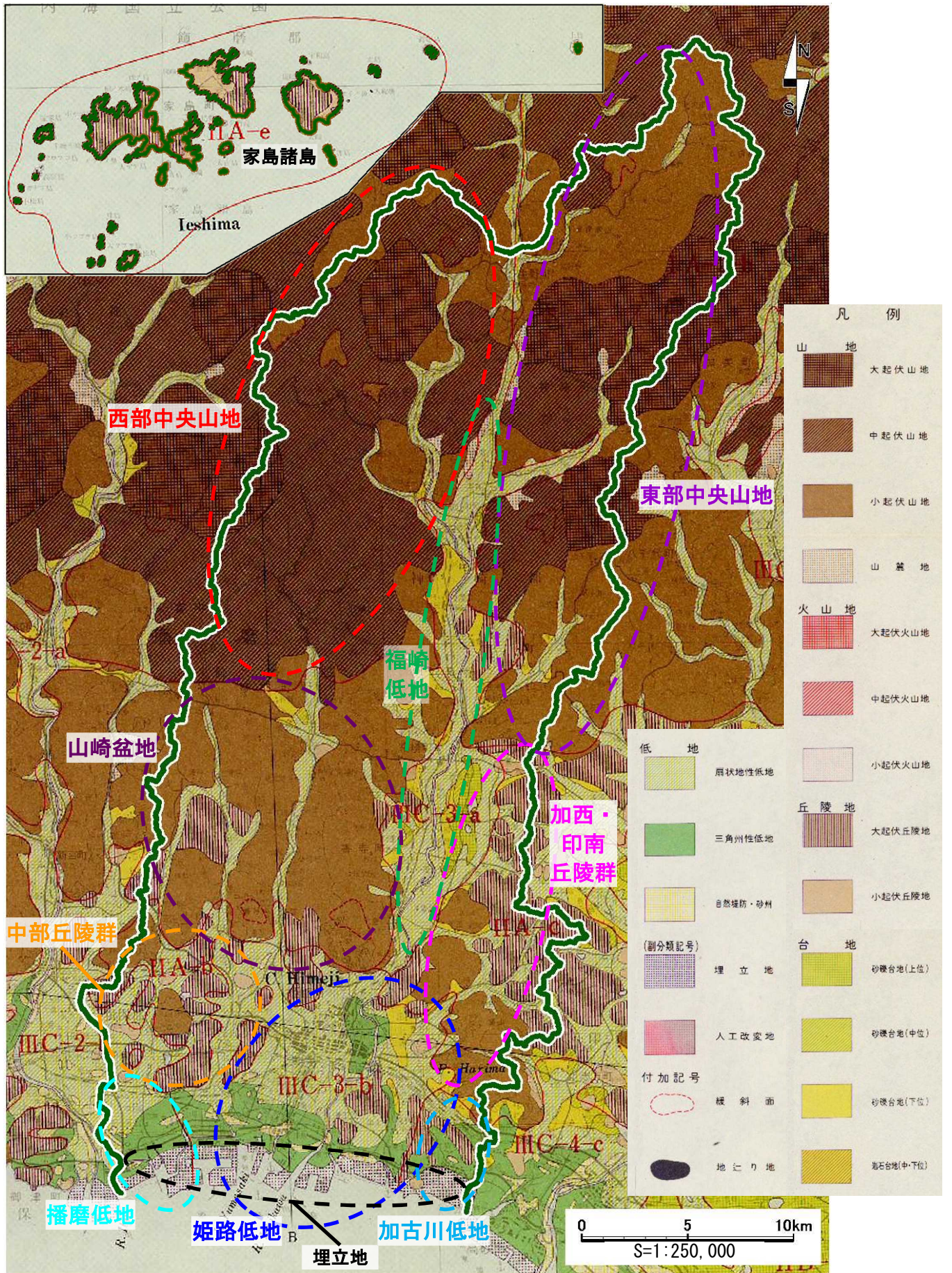
地質は、主に扇状地では砂礫、デルタ地形では砂、粘土等で形成され、大起伏丘陵地では相生層群により形成される。海沿いの河口部は、埋立地となっているが、姫路市大塩町～網干間にあった古い海岸砂州の名残(現在の国道 250 号付近)も見られる。



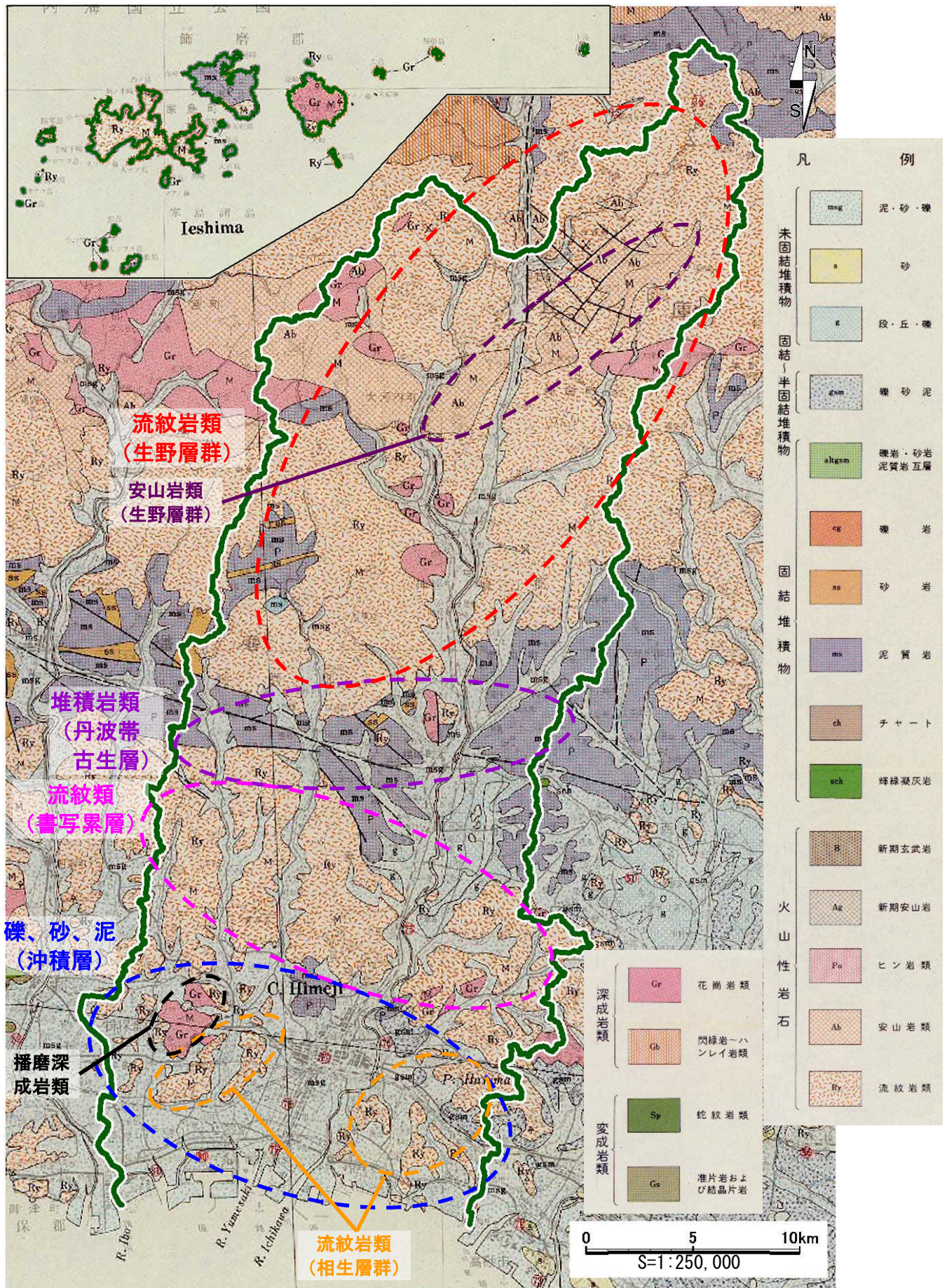
2) 姫路市北部：山陽自動車道より北に位置するエリア

3) 姫路市南部：山陽自動車道より南に位置するエリア

* 流域のみで法定河川は含まれていない市



出典：20万分の1土地分類基本調査 地形分類図（国土交通省 国土政策局 国土情報課HP）
地形図



出典：20万分の1土地分類基本調査 表層地質図（国土交通省 国土政策局 国土情報課HP）
地質図

(3) 気候

気候は、北部山間地の内陸気候地域と、中・南部の瀬戸内海気候地域に大きく二分される。

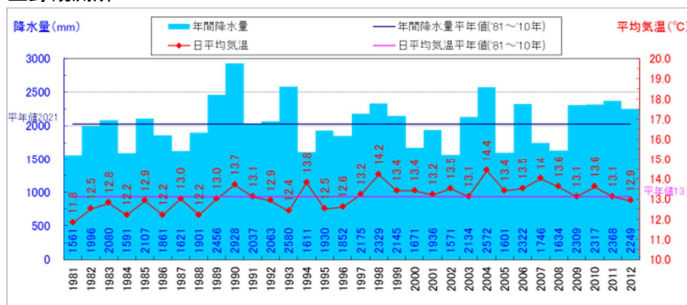
年平均気温は、計画地域北部の生野観測所で約 13.1℃（1981 年～2010 年の平年値）、計画地域中部の福崎観測所で約 14.8℃（1981 年～2010 年の平年値）、計画地域南部の姫路観測所で約 15.2℃（1981 年～2010 年の平年値）と、計画地域中・南部は計画地域北部に比べてやや高く温暖である。

年間降水量は、計画地域北部の生野観測所で約 2,000mm（1981 年～2010 年の平年値）、計画地域中部の福崎観測所で約 1,400mm（1981 年～2010 年の平年値）、計画地域南部の姫路観測所で約 1,200mm（1981 年～2010 年の平年値）と、計画地域中・南部は北部に比べて少なく、全国平均の約 1,700mm を下回っている。

【計画地域：北部（朝来市、神河町）】

計画地域北部の生野観測所において、年平均気温は約 13.1℃（1981 年～2010 年の平年値）、年間降水量が約 2,000mm（1981 年～2010 年の平年値）と全国平均の約 1,700mm を上回っている。

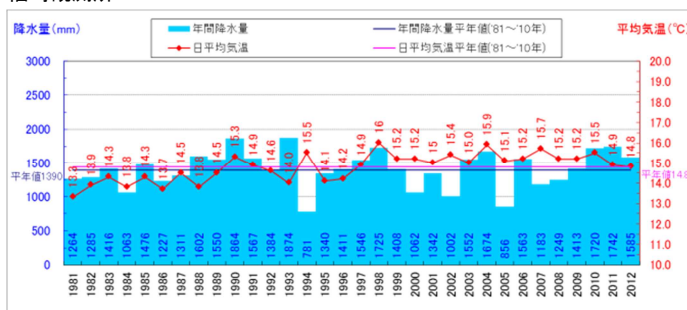
生野観測所



【計画地域：中部（市川町、福崎町、姫路市北部、加西市*）】

計画地域中部の福崎観測所において、年平均気温は約 14.8℃（1981 年～2010 年の平年値）、年間降水量は約 1,400mm（1981 年～2010 年の平年値）と全国平均の約 1,700mm を下回っている。

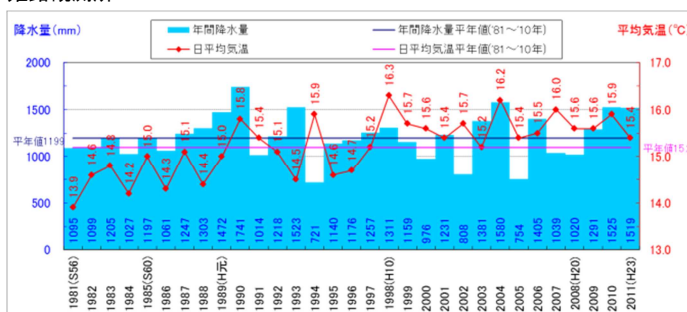
福崎観測所



【計画地域：南部（姫路市南部、高砂市、太子町、たつの市*、加古川市*）】

計画地域南部の姫路観測所において、年平均気温は約 15.2℃（1981 年～2010 年の平年値）、年間降水量は約 1,200mm（1981 年～2010 年の平年値）と全国平均の約 1,700mm を下回っている。

姫路観測所



年間降水量・平均気温

出典：気象庁HP

(4) 自然環境

計画地域では、特に山地部や丘陵部に良好な自然環境が残されており、貴重な生態系が保全されている。

【計画地域：北部（朝来市、神河町）】

植生は、山地には主にスギ・ヒノキ植林地、コナラ群落広がる。また、雪彦峰山県立自然公園にはクヌギ、ナラ等の広葉樹が広がり、河畔にはエノキムクノキ群集等の夏緑林、スギ・ヒノキ植林地がみられ、河道にはツルヨシ群集が広い範囲にみられる。

魚類については、自然の河床形態が残り、流れは急で、アマゴ^{*}、アユ、ウグイ等、清水を好む魚類の生息域となっている。

底生動物については、渓流域では、カゲロウ類やトビケラ類が生息する。

鳥類については、林地や林縁部を生息場とするヤマガラや水辺を利用するカワセミ^{*}がみられる。また、市川流域の一部が仁寿山鳥獣保護区に指定されており、オオタカ^{*}、チョウゲンボウ等の猛禽類やキジが生息している。また、水辺を利用するイワツバメ、ヤマセミ^{*}、カワガラスがみられる。

【計画地域：中部（市川町、福崎町、姫路市北部、加西市*）】

植生は、河畔には竹林、ササ類が広がる箇所もみることが出来る。河道内の砂州上では広い範囲でツルヨシ群集が形成されている。また、カワヂシャ、ミゾコウジュ^{*}が確認されている。水際にはミゾソバ群落、河岸にはカナムグラアキノノゲシ群落やクズ群落がみられる。夢前川流域の特徴として、高水敷が整備され、芝が張られている。市川流域では、出水による攪乱で成立した「丸石河原」と呼ばれる礫河原にカワラハハコ^{*}等が生息している。

魚類については、瀬と淵のほか、堰による湛水域があり、瀬ではアユやカワヨシノボリが生息し、また淵や堰の湛水域にはシマドジョウ、コイ、フナ類が生息する。また、夢前川流域の特徴として、瀬と淵が連続し、アカザ^{*}やカジカ^{*}が生息する。

底生動物については、砂礫底にはホンサナエ^{*}等のヤゴが生息し、水際植物帯にはゲンジボタルの幼虫等が生息する。また、市川流域では、モクズガニ等が生息し、中流から下流のワンド・たまり等の止水域では二枚貝類等がみられる。

鳥類については、モズ、ホオジロ等が草地を採餌場として利用するほか、砂州の裸地はチドリ類が営巣場としている。また、サギ類が流水部で採餌したり、カモ類が水面で休息するなどの姿がみられる。夢前川流域の林地や林縁部を生息場とするヤマガラや水辺を利用するカワセミ^{*}がみられる。また猛禽類ではミサゴ^{*}、ハイタカ^{*}が確認されている。

※ 貴重種：「改定：兵庫県の貴重な自然－兵庫県版レッドデータブック 2003」

「兵庫県の貴重な自然－兵庫県版レッドデータブック 2010(植物・植物群落)」

「兵庫県の貴重な自然－兵庫県版レッドデータブック 2012(昆虫類)」

「兵庫県の貴重な自然－兵庫県版レッドデータブック 2013(鳥類)」

* 流域のみで法定河川は含まれていない市

【計画地域：南部（姫路市南部、高砂市、太子町、たつの市*、加古川市*）】

植生は、河道内の砂州や河岸には、ツルヨシ、オギの群落が見られる。また夢前川流域では、カワヂジャ*、ミゾコウジュ*が確認されている。下流域では、ネズミムギ、セイタカアワダチソウ等の外来種が広い範囲で生育している。河口には塩性湿地に特徴的なヨシ、シオクグや、アイシン*の群落が見られる。また、西浜川流域の山沿いの一部に貴重種であるノジギクが自生している。八家川流域も同様に自然海岸の小赤壁には、ウバメガシの自然林やノジギクの自生地等の貴重な自然がある。市川流域の下流には中洲が発達し、ヤナギ林や外来種であるセイタカアワダチソウが見られる。三角州でも、セイタカアワダチソウが見られる。船場川流域では、計画地域全体に外来種であるセイタカアワダチソウが見られる。大津茂川流域では、ツルヨシや外来種であるセイタカアワダチソウ等の高茎植物は下流域から継続的にみられる。

魚類については、瀬や淵のほかに堰の湛水域があり、瀬にはアユやオイカワ、カワヨシノボリ、シマヨシノボリ等が見られる。また、八家川流域では、メダカ*も確認されている。夢前川流域では、堰の湛水域では、イチモンジタナゴ*等が見られる。大津茂川水系では、緩やかな流れを好むコイ類、フナ類等が生息しており、湛水区間が多い大津茂川の状況が生息に適していると考えられるが、瀬や淵では、オイカワやヌマムツ等の生息も確認されている。また、オオクチバスやブルーギル、タイリクバラタナゴ、カムルチー等の外来種も確認されている。

底生動物については、中流域で見られるホンサナエ*等のヤゴが生息し、水際植物帯にはゲンジボタルの幼虫等が生息する。

鳥類については、カワウ、ヒヨドリ、ドバト、スズメ等が見られ、河道内には、コガモ、カルガモ、マガモ、サギ類等が多くみられる。また、船場川流域ではカワセミ*の飛翔も確認されている。

その他の動物としては、イシガメ、クサガメ、外来種のアカミミガメが広範囲で生息しているとともに、船場川流域では、スッポン*も確認されている。また、市川流域の河口に外来種である小動物のヌートリア、両生類のウシガエルが見られる。夢前川流域の下流から中流にかけてもヌートリアが見られる。

- ※ 貴重種：「改定：兵庫県の貴重な自然－兵庫県版レッドデータブック 2003」
「兵庫県の貴重な自然－兵庫県版レッドデータブック 2010(植物・植物群落)」
「兵庫県の貴重な自然－兵庫県版レッドデータブック 2012(昆虫類)」
「兵庫県の貴重な自然－兵庫県版レッドデータブック 2013(鳥類)」

* 流域のみで法定河川は含まれていない市

(5) 歴史・文化

【計画地域：北部（朝来市、神河町）】

市川流域の谷筋は、山陽・山陰をつなぐ交通路で、古くから但馬街道として利用されてきた。山陰との接点には、平安時代初期に開坑したと伝えられ、幕府が直轄で管理していた生野銀山が史跡として残っている。明治初頭には、生野銀山から飾磨港に至る市川沿いに、日本初の高速産業道路「銀の馬車道」が建設され、今日の南北物流の基盤を造った。また、朝来市生野町口銀谷地区の市川沿いには、かつての生野銀山の鉱石が運搬されたトロッコ道跡が残っている。また、神河町新野地区には、昭和 30 年代まで稼働していた水車が現存している。

【計画地域：中部（市川町、福崎町、姫路市北部、加西市*）】

夢前川流域に書写に円教寺がある。円教寺は、康保 3 年(966 年)に性空上人によって開かれ、多くの信仰を集めて参詣や僧侶の修行の道場として栄え、西の比叡山とも呼ばれる。現在も全国からの参詣者が多く、国指定重要文化財の建造物 8 棟、仏像 8 体が所有されている。また流域では、縄文、弥生、古墳時代等の遺跡が見つかっており、流域内には古くから人が暮らしていた様子が伺える。

【計画地域：南部（姫路市南部、高砂市、太子町、たつの市*、加古川市*）】

西浜川流域、八家川流域の河口の干拓地、埋立地は、播磨で最初に製塩が行われたと伝えられている。江戸時代には入浜式塩田が広がり、昭和の時代まで続いたが、昭和 46 年に塩田はすべて廃田となった。大塩町は、昭和 34 年に、姫路市に合併されるまで印南郡大塩町（昭和初期大塩町）であったが、浜街道が大塩町を横断しており、道しるべもあつたことから、浜街道における重要な一地点であったものと思われる。

夢前川流域では 1656 年に姫路城藩主だった榊原忠次が夢前川の堤防工事を行った。それまで御立地先より今宿地先を経て英賀地先へ流れていた夢前川を、横関から青山に流す堤防工事を行い、それまで下流で起きていた災害を防止した。

船場川流域では、弥生時代から古墳時代にかけての遺跡が多数発掘され、2,000 年ほど昔から船場川の流れを利用したコメ作りが行われてきたことが知られている。また船場川の流れをらせん状の濠として利用することで、姫路城の守りを固めていた。江戸時代の船運の名残として、材木町に高瀬舟の避難場所でもあつた船入川や、八代本町に船着き場跡が残っているほか、周辺には、船運の目標となった千代田公園の灯籠（常夜灯）や、高瀬舟を繋いだという龍野町の船繋ぎ石も残っている。

野田川流域には、播磨国総社、正法寺、正明寺、亀山本徳寺等の神社仏閣があり、流域近隣には国宝、国指定文化財、かつ世界文化遺産にも指定されている姫路城が存在する。

* 流域のみで法定河川は含まれていない市

1-2. 洪水被害の発生状況

計画地域では、昭和 38 年 6 月、昭和 40 年 9 月、昭和 51 年 9 月、平成 2 年 9 月、平成 16 年 8 月、平成 16 年 10 月等、これまで何度も大きな洪水が発生してきた。姫路市では、昭和 40 年 9 月の台風 24 号により、浸水面積 4,000ha、床上浸水 1,424 戸、床下浸水 15,063 戸、昭和 51 年 9 月の台風 17 号により、浸水面積 3,253ha、床上浸水 6,891 戸、床下浸水 22,412 戸、平成 2 年 9 月の台風 19 号により、浸水面積 944ha、床上浸水 1,146 戸、床下浸水 7,677 戸の被害が発生した。

近年でも毎年続けて浸水被害が発生している。特に、平成 23 年 9 月の台風 12 号においては、浸水面積約 876.8ha、床上浸水 454 戸、床下浸水 1,379 戸の被害が発生した。また、姫路市において、市川の水位上昇に伴い、3 日 18 時に、市内の約 4 万 2 千世帯、計約 10 万人に避難勧告が発令された。

平成 24 年 6 月に発生した台風 4 号においても、夢前川や船場川で浸水が生じている。また、平成 25 年 9 月の集中豪雨においては、神河町（上越知）で時間雨量 85mm を記録し、市川の福崎観測所においては避難判断水位 5.20m を超過し、最高水位 5.40m を記録した。この豪雨で、福崎町では避難準備情報発令し避難所を開設した。計画地域では、河川、砂防施設、道路等 35 件の災害が発生した。



平成 23 年 9 月 台風 12 号浸水状況写真



平成 24 年 6 月 台風 4 号浸水状況写真

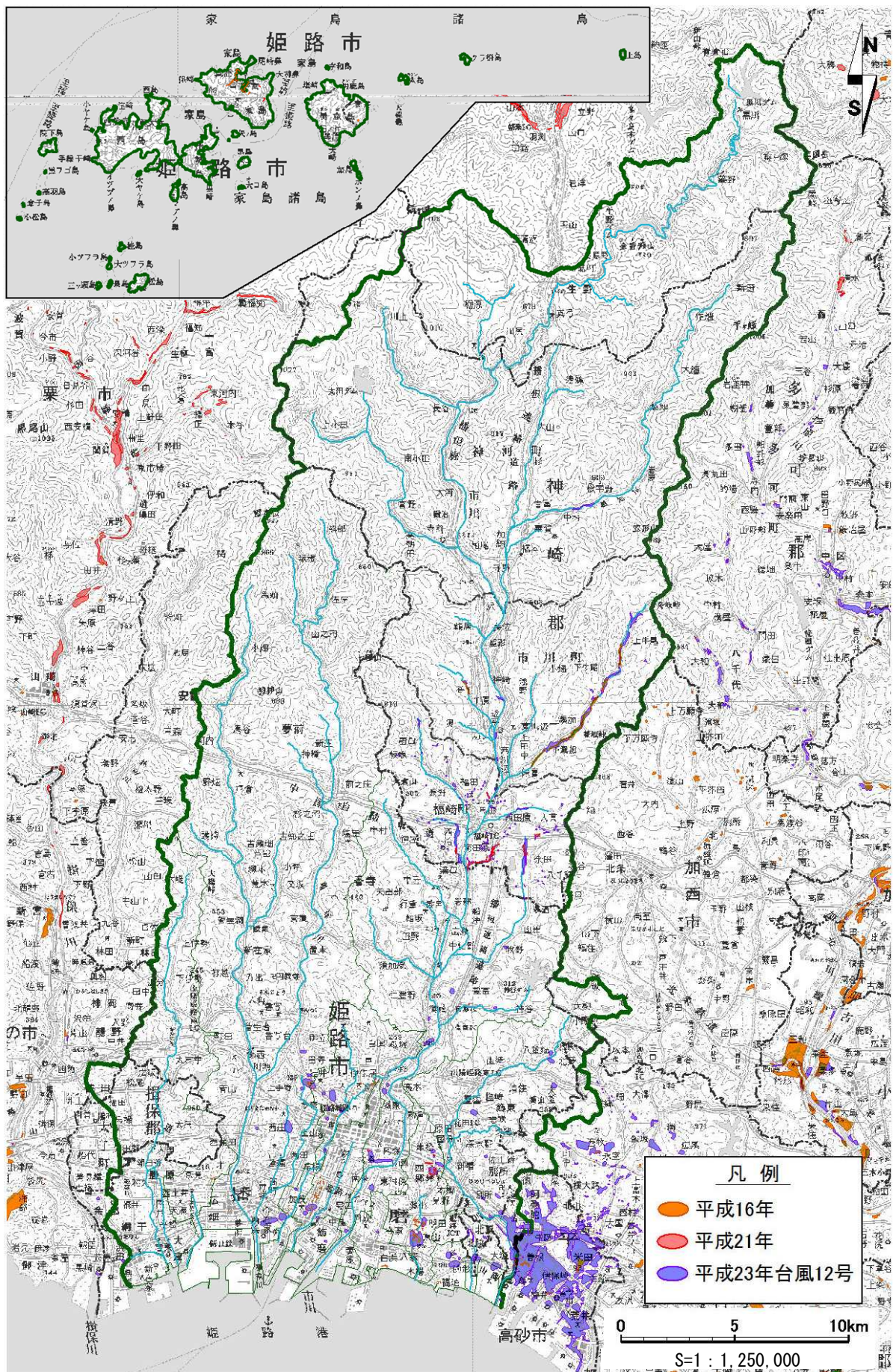


平成 25 年 9 月 集中豪雨浸水状況写真

近年の洪水による被害発生状況（平成17年～平成23年）

年度	発生年月	異常気象名	水害原因	水系	主な被災河川	水害区域面積（㎡）			被害家屋棟数（棟）				一般資産被害額 （千円）										
						宅地その他	農地	計	床下浸水	床上浸水	半壊	全壊流失		計									
H17年 合計						0	0	0	0	0	0	0	0	0									
H18	6.30-7.25	梅雨前線豪雨	内水	夢前川	広畑配水路1号	4,800	0	4,800	17	0	0	0	17	15,101									
						合計	4,800	0	4,800	17	0	0	0	17	15,101								
						内水	市川	犬見川	112	0	112	1	0	0	0	1	1,305						
						内水	八家川	八家川	1,000	0	1,000	5	0	0	0	5	2,380						
						合計	1,112	0	1,112	6	0	0	0	6	3,685								
H18年 合計						5,912	0	5,912	23	0	0	23	18,786										
H19	-	その他の異常気象	内水	船場川	岡町川	96	0	96	1	0	0	0	1	902									
						内水	野田川	細江川	768	0	768	8	0	0	0	8	7,218						
						合計	864	0	864	9	0	0	0	9	8,120								
H19年 合計						864	0	864	9	0	0	9	8,120										
H20	-	その他の異常気象	内水	市川	西御着川	192	0	192	2	0	0	0	2	2,082									
合計						192	0	192	2	0	0	0	2	2,082									
H20	9.2-9.5	豪雨	内水	市川	振古川	2,120	0	2,120	22	0	0	0	4	26,588									
						合計	2,120	0	2,120	22	0	0	0	4	26,588								
H20年 合計						2,312	0	2,312	24	0	0	6	28,670										
H21	7.17-30	梅雨前線豪雨	内水	市川	北条川	480	0	480	5	0	0	0	5	5,725									
						無堤部溢水	八家川	西御着川	96	0	96	1	0	0	0	1	966						
						内水	野田川	清水川	480	0	480	2	3	0	0	5	18,083						
						合計	1,056	0	1,056	8	3	0	0	11	24,774								
H21	7.31-8.3	豪雨	内水	市川	北条川	480	0	480	4	1	0	0	5	7,794									
						無堤部溢水	八家川	西御着川	480	0	480	4	1	0	0	5	7,794						
						無堤部溢水	八家川	八家川	768	0	768	8	0	0	0	8	9,514						
						合計	1,728	0	1,728	16	2	0	0	18	25,102								
H21	8.8-11	台風9号	無堤部溢水	市川	小田原川	91	0	91	1	0	0	0	1	498									
						合計	91	0	91	1	0	0	0	1	498								
H21年 合計						2,875	0	2,875	25	5	0	30	50,374										
H22	5.22-25	豪雨	内水	市川	恒屋川	192	0	192	2	0	0	0	2	1,880									
						内水	船場川	船場川	192	0	192	2	0	0	0	2	5,193						
						内水	船場川	岡町川	288	0	288	3	0	0	0	3	2,393						
						内水	大津茂川	高田川	96	0	96	1	0	0	0	1	510						
						内水	大津茂川	西脇東川	96	0	96	1	0	0	0	1	940						
						内水	八家川	西御着川	288	0	288	3	0	0	0	3	15,257						
						内水	夢前川	辻井川	1,344	0	1,344	14	0	0	0	14	13,191						
						内水	夢前川	青山出屋敷川	384	0	384	4	0	0	0	4	3,768						
						内水	夢前川	青山川	1,440	0	1,440	13	1	0	0	14	31,214						
						合計	4,320	0	4,320	43	1	0	0	44	74,346								
						H22年 合計						4,320	0	4,320	43	1	0	44	74,346				
H23	8.30-9.7	台風12号及び豪雨	内水	市川	市川	22,410	0	22,410	98	27	5	0	130	214,776									
						無堤部溢水	市川	岡部川	18,140	159,650	177,790	15	15	0	0	30	31,276,161						
						有堤部浸水 その他	市川	越智川	22,832	17,700	40,532	23	3	0	0	26	279,746						
						内水	市川	阿保川・西阿保川	5,664	0	5,664	46	5	0	0	51	77,363						
						無堤部浸水	市川	神谷川	1,204	0	1,204	5	2	0	0	7	13,597						
						無堤部浸水	市川	河内川	830	9,870	10,700	1	0	0	0	1	1,925,959						
						内水	市川	兼田川	1,824	0	1,824	15	4	0	0	19	21,843						
						無堤部浸水	市川	御舟川	850	0	850	1	3	0	0	4	11,762						
						内水	市川	中島東	1,344	0	1,344	13	0	0	0	13	13,416						
						無堤部浸水	市川	日原川	1,340	0	1,340	3	1	0	0	4	10,234						
						内水	市川	平田川	1,440	0	1,440	7	8	0	0	15	20,089						
						無堤部浸水	市川	無名河川	14,480	0	14,480	27	15	0	0	42	131,991						
						その他	市川	犬見川	23	0	23	0	1	0	0	1	528						
						その他	市川	小田原川	309	0	309	1	0	0	0	1	2,465						
						内水	西浜川	西浜川	15,256	0	15,256	2	1	0	0	3	7,670						
						内水	船場川	船場川	576	0	576	4	2	0	0	6	6,510						
						内水	"	新在家南川・岡野川	3,072	0	3,072	25	7	0	0	32	47,065						
						内水	天川	天川	8,415,942	0	8,415,942	699	189	0	0	888	2,832,808						
						内水	"	小原南川	384	0	384	2	2	0	0	4	7,016						
						内水	"	大釜川	1,824	0	1,824	6	13	0	0	19	42,687						
						内水	"	北山川	1,536	0	1,536	8	8	0	0	16	21,016						
						内水	"	北宿川	5,472	0	5,472	35	22	0	0	57	98,205						
						内水	"	北野川	672	0	672	7	0	0	0	7	6,464						
						内水	八家川	八家川	13,632	0	13,632	108	34	0	0	142	180,190						
						内水	"	八家川・西御着川	1,152	0	1,152	5	7	0	0	12	21,539						
						内水	夢前川	夢前川	480	0	480	5	0	0	0	5	4,613						
						内水	"	御立川	288	0	288	1	2	0	0	3	3,741						
						内水	"	今在家排水路	9,888	0	9,888	79	24	0	0	103	122,834						
						内水	"	今在家排水路1号	384	0	384	4	0	0	0	4	3,691						
						内水	"	水尾川	576	0	576	4	2	0	0	6	6,078						
						内水	"	大井川	9,312	0	9,312	65	32	0	0	97	114,555						
						内水	"	辻井川	6,720	0	6,720	47	23	0	0	70	89,506						
						内水	野田川	細江川	1,820	0	1,820	18	2	0	0	20	24,149						
						合計						8,581,676	187,220	8,768,896	1,379	454	5	0	1,838	37,640,267			
						H23	9.15-23	台風15号及び豪雨	内水	市川	阿成川	384	0	384	4	0	0	0	4	3,692			
												内水	市川	阿保川	1,824	0	1,824	6	6	0	0	12	39,850
												内水	市川	兼田川	1,536	0	1,536	3	5	0	0	8	37,489
												内水	八家川	八家川	2,016	0	2,016	10	4	0	0	14	43,026
												内水	八家川	宇佐崎排水路6号	576	0	576	5	1	0	0	6	6,026
												内水	八家川	八家川・西御着川	1,440	0	1,440	4	7	0	0	11	28,122
合計						7,776	0	7,776	32	23	0	0	55	158,205									
H23年 合計						8,589,452	187,220	8,776,672	1,411	477	5	0	1,893	37,798,472									

出典：水害統計



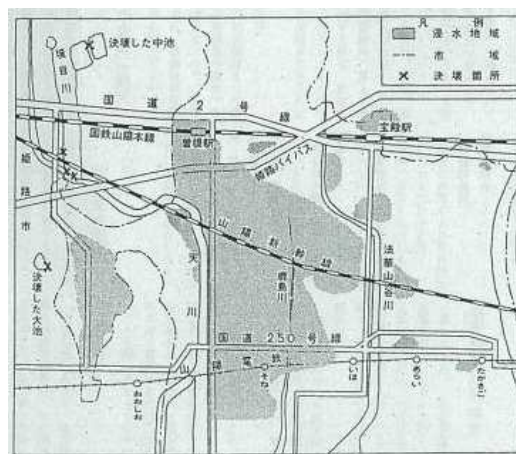
出典：兵庫県HP

近年の洪水被害による実績浸水区域図

【天川水系】

昭和 51 年 9 月の台風 17 号では、天川左岸 2 カ所の決壊、天川へ流れ込む境目川の氾濫、中池の決壊等によって膨大な量の水が天川の左岸沿いに南下し、曾根駅の周辺や曾根町や伊保町等で大きな被害が発生した。

近年では、平成 23 年 9 月の台風 12 号により、高砂市の天川流域に係る市街地で床上浸水家屋 218 棟、床下浸水家屋 1,173 棟という、大きな被害が発生した。これは、台風による集中豪雨と満潮が重なった影響による。



昭和 51 年 9 月の台風 17 号の
浸水による被災地域

出典：高砂市市政だより 災害特集号

昭和 51 年 9 月の台風 17 号の被害状況

	家屋 全壊	家屋 半壊	家屋 床上 浸水	家屋 床下 浸水	合計
高砂町	0	1	8	97	379
荒井町	0	0	1	137	500
伊保町	0	0	140	704	3,078
曾根町	1	0	916	580	5,785
米田町	0	0	1	22	81
阿弥陀町	0	0	349	155	1,813
北浜町	0	1	169	329	1,893
計	1	2	1,584	2,024	13,529

出典：高砂市市政だより 災害特集号

平成 23 年 9 月の台風 12 号の被害状況

地区名※	家屋 床上 浸水	家屋 床下 浸水	合計
阿弥陀地区	100	485	641
北浜地区	0	2	2
中筋地区	22	133	186
曾根地区	96	553	716
合計	218	1,173	1,391

※天川流域に係る地区のみを抽出

出典：平成23年台風12号による災害対応検証報告書
(高砂市平成23年台風12号災害対応検証委員会)

【西浜川水系】

西浜川では、昭和 51 年 9 月洪水で流域の大部分が浸水した。近年では、平成 23 年 9 月の台風 12 号により、浸水面積 1.5ha、浸水家屋 3 棟の被害が発生した。

主要洪水の被害概要

洪水年月日	異常気象名	浸水面積 (m ²)			浸水家屋 (棟)			備考
		宅地 その他	農地	合計	床下 浸水	床上 浸水	合計	
H23. 8. 30~9. 7	台風 12 号及び豪雨	15,256	0	15,256	2	1	3	

【八家川水系】

八家川流域では、埋め立てられた低平地を中心に地形上、高潮や洪水による被害が発生しやすい。

昭和40年9月の洪水では、床上浸水70戸、床下浸水200戸、浸水面積101haの被害が発生した。また、平成2年9月の洪水では床上浸水92戸、床下浸水296戸、浸水面積140haの被害が発生した。

近年では、平成16年8月の台風16号により、床上浸水32戸、床下浸水169戸、浸水面積12.7haの被害が発生した。その他、平成16年9月の台風18号により、床上浸水1戸、床下浸水28戸、台風21号により床下浸水3戸の被害が発生した。

主要洪水の被害概要

年月日	異常気象名	浸水面積 (ha)	浸水家屋(棟)			備考
			床上浸水	床下浸水	計	
S40.9.10~15	台風23号	101.0	70	200	270	
H2.9.17~20	台風19号	140.0	92	296	388	
H16.8.30~31	台風16号	12.7	32	169	201	
H16.9.7	台風18号	2.5	1	28	29	
H16.9.28~30	台風21号	—	0	3	3	

出典：八家川水系河川整備基本方針



東山地区：糸引橋西側



平成16年8月台風16号 浸水状況写真

出典：姫路土木事務所 河川砂防課



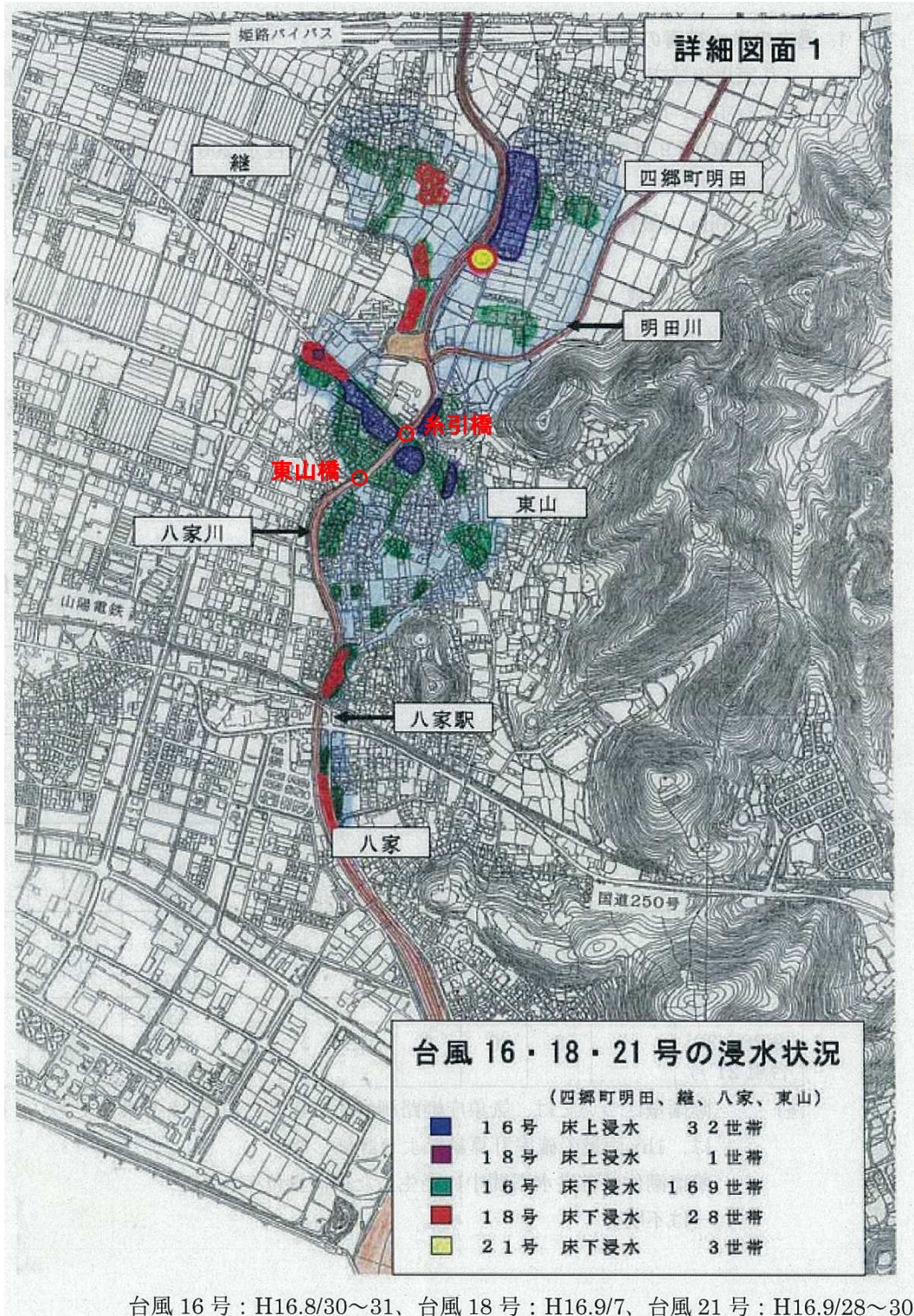
③八家川糸引橋上流 H16.9.7



②八家川東山橋下流 H16.9.7

平成16年9月台風18号 浸水状況写真

出典：姫路土木事務所 河川砂防課



実績浸水区域図

【市川水系】

市川水系で大きな被害を起こした洪水は、昭和 13 年 7 月洪水、昭和 38 年 6 月洪水、昭和 40 年 9 月洪水、平成 2 年 9 月洪水である。

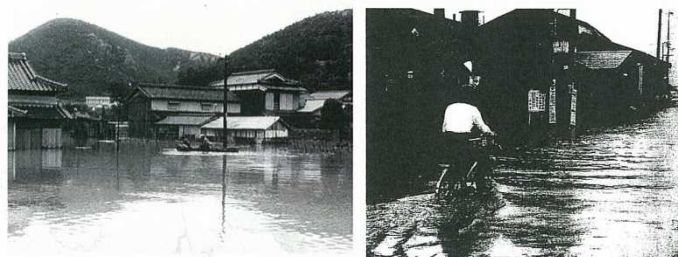
阪神大水害を起こした昭和 13 年 7 月では、市川の濁流によって山陽電鉄妻鹿鉄橋が水没・湾曲した。昭和 38 年 6 月洪水では、市川の堤防が決壊し、浸水面積 3,020ha、浸水家屋 2,179 棟の被害が発生した。

主要洪水の被害概要

年月日	異常気象名	浸水面積 (ha)	浸水家屋(棟)			備考
			床上浸水	床下浸水	計	
S13.7	集中豪雨	—	—	—	—	山陽電鉄妻鹿鉄橋が市川の濁流によって水没・湾曲
S38.6	梅雨前線	3,020	841	1,338	2,179	市川堤防決壊、山陽電鉄軌道敷水没
S39.9	台風 20 号	10	—	—	38	
S40.9	台風 23, 24 号	535	—	—	896	
S51.9	台風 17 号	—	—	—	402	
H2.9	台風 19 号	40	100	1,074	1,174	
H16.8	台風 19 号	0.18	—	—	0	
H16.10	台風 23 号	0.05	—	—	2	

注) 浸水面積、浸水家屋数、『水害統計』(国土交通省河川局)による。

出典：市川水系河川整備計画



昭和 38 年 6 月の浸水状況【姫路市妻鹿地区】

出典：昭和のあゆみ 妻鹿

【野田川水系】

野田川水系周辺は、平坦な地形に加え、特に、下流部では地盤が低いため、水はけが悪く、洪水や高潮による被害を受けやすい。昭和 20 年代、30 年代には毎年のように浸水被害を受けたが、近年では、大きな洪水被害が発生していない。

主要洪水の被害概要

年月日	異常気象名	浸水面積 (ha)	浸水家屋(棟)			備考
			床上浸水	床下浸水	計	
S26. 7. 2	ケイト台風	1,502	17	2,491	2,508	家屋全壊 5 戸、田畑流出 99ha、小舟流出 5 隻
S26. 10. 15	ルース台風	—	—	—	—	負傷者 1 名、家屋全壊 17 戸、家屋半壊 26 戸、橋の被害 2 件
S27. 7. 2	梅雨	—	—	1,087	1,087	堤防決壊 11 件、道路崩落 3 件、山崩れ崖崩れ 3 件
S29. 6. 7	台風 2 号	762.1	16	2,391	2,407	堤防決壊 8 件、橋の流出 3 件、小舟流出 5 隻
S29. 9. 26	台風 15 号	470	69	167	236	死者 1 名、負傷者 5 名、家屋全壊 16 戸、堤防決壊 24 件
S34. 9. 26	伊勢湾台風	—	6	—	6	家屋全壊 4 戸、家屋半壊 16 戸、家屋浸水 20 戸（非住家）
S35. 8. 29	台風 16 号	—	6	370	376	家屋全壊 4 戸、家屋半壊 26 戸、道路決壊 2 力所、堤防決壊 9 力所
S36. 9. 16	第二室戸台風	203	82	1,793	1,875	堤防決壊 5 力所、溢水 9 力所、崖崩れ 2 力所
S38. 6. 4	梅雨	—	400	1,115	1,515	家屋倒壊 1 戸、家屋半壊 3 戸、土砂流入 3 戸
S40. 9. 10	台風 23 号	520	729	1,969	2,698	死者 6 名、重傷者 14 名、家屋全壊 29 戸、家屋半壊 99 戸、堤防決壊 36 力所、道路損壊 17 力所、橋の流出 2 件
S40. 9. 13~ 9. 17	台風 24 号	4000	1,424	15,063	16,487	死者 2 名、行方不明者 1 名、家屋全壊流出 11 戸、家屋半壊 28 戸、ため池決壊 7 力所、崖崩れ 30 力所、河川欠損 19 力所
S49. 7. 7	台風 8 号	700	53	1,269	1,322	橋流出 1 件、堤防決壊 1 力所、山・崖崩れ 6 力所
S51. 9. 8~ 9. 13	台風 17 号	3,253	6,891	22,412	29,303	死者 6 名、負傷者 4 名、家屋全壊 7 戸、家屋半壊 63 戸、橋流出 12 件、道路決壊 128 力所、山・崖崩れ 241 力所
S57. 8. 8	台風 10 号	—	408	2,337	2,745	崖崩れ 6 力所、堤防溢水 2 力所
S58. 9. 27	台風 10 号	—	—	207	207	山崩れ 1 力所、堤防溢水 1 力所
S62. 10. 17	台風 19 号	700	53	1,259	1,312	橋流出 1 件、堤防決壊 1 力所、山・崖崩れ 6 力所
H2. 9. 12~ 9. 20	梅雨前線・ 台風 19 号	944	1,146	7,667	8,813	死者 1 名、家屋半壊 3 戸、橋流出等 3 件、堤防浸食等 30 力所、山・崖崩れ 46 力所、道路決壊 115 力所
H3. 9. 27	台風 19 号	—	—	14	14	家屋破壊 21 戸、停電戸数 36,000 戸、電話不通 5,000 戸

注)：浸水面積、浸水家屋は姫路市全域での値を記載

【船場川水系】

船場川流域は、市川の氾濫原であり、地形上、高潮や洪水による被害が発生しやすく、昭和 51 年 9 月の台風 17 号、平成 2 年 9 月の台風 19 号等では浸水被害が発生した。近年では平成 16 年 10 月の台風 23 号により浸水面積約 30ha、浸水家屋 179 戸の被害が発生した。

主要洪水の被害概要

年月日	異常気象名	浸水面積 (ha)	浸水家屋(棟)			備考
			床上浸水	床下浸水	計	
S38. 6. 4	梅雨前線	—	400	1,115	1,515	
S40. 9. 9	台風 23 号	520	729	1,969	2,698	
S40. 9. 14	台風 24 号	4,000	1,424	15,063	16,487	
S51. 9. 10	台風 17 号	3,253	6,891	22,412	29,303	
S62. 10. 18	台風 19 号	700	53	1,269	1,322	
H2. 9. 19	台風 19 号	944	1,146	7,667	8,813	
H16. 10. 19*)	台風 23 号	30	12	167	179	

注)：浸水戸数・面積は姫路市全域での値を記載

*)：船場川流域のみ浸水が発生したため、浸水戸数、面積は船場川流域のみの値である

出典：船場川水系河川整備計画



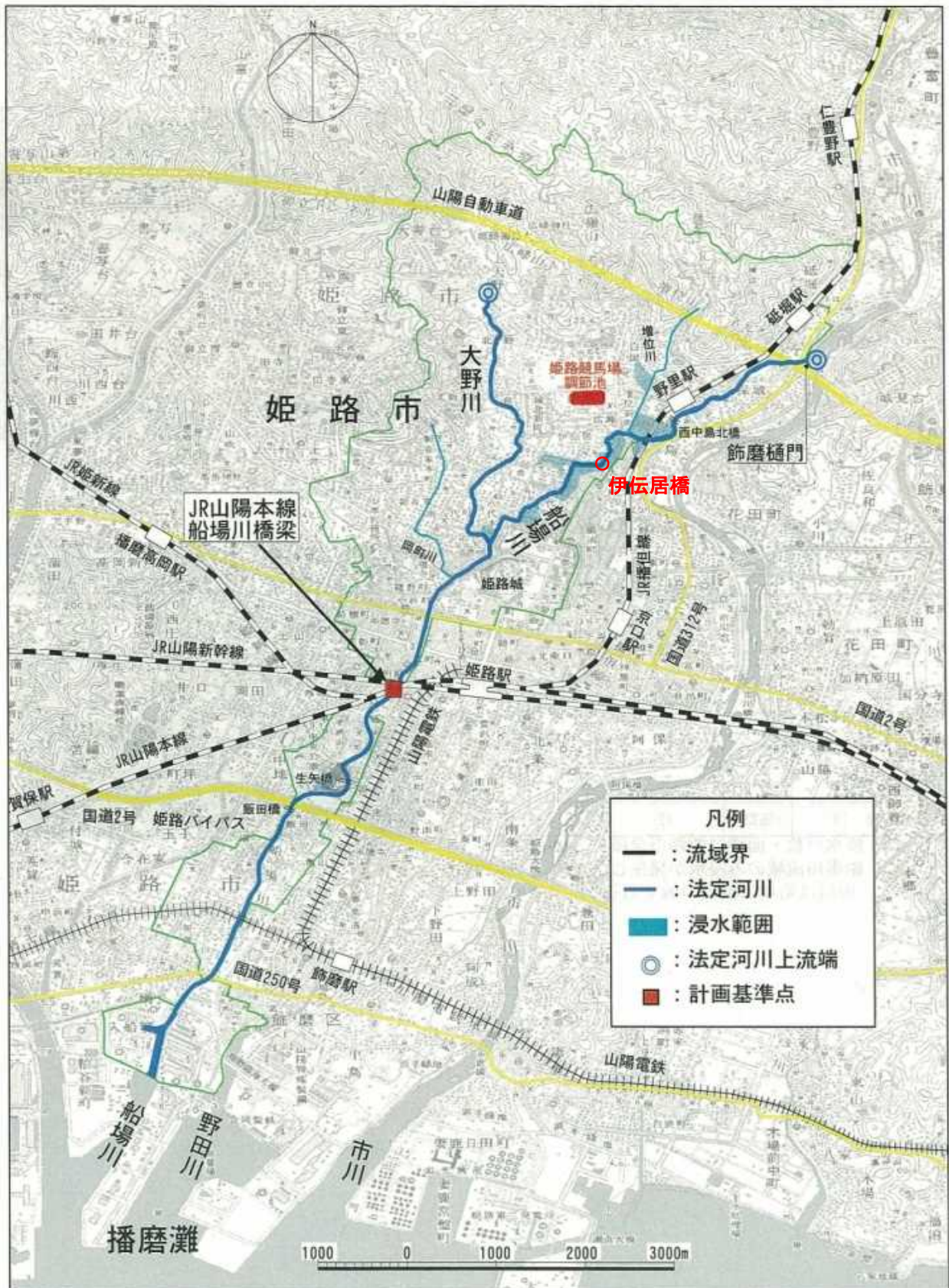
伊伝居橋から下流を望む



左岸下流から伊伝居橋を望む

出典：自治会提供資料

平成 24 年屈曲部からの越水状況



出典：船場川水系河川整備計画
 平成 16 年 10 月台風 23 号による実績浸水区域図

【夢前川水系】

夢前川流域で大きな被害を起こした洪水は昭和 40 年洪水、昭和 51 年洪水である。

夢前川の流域は、昭和 40 年 9 月の台風 24 号では浸水面積 1,823ha、浸水家屋 6,346 戸、昭和 51 年 9 月の台風 17 号では、浸水面積 720ha、浸水家屋 6,575 戸の被害が発生した。また、平成に入ってから、平成 2 年 9 月の台風 19 号による出水で、浸水面積 121ha、浸水家屋 2,454 戸の被害が発生した。

主要洪水の被害概要

年月日	異常気象名	浸水面積 (ha)			浸水家屋 (棟)			備考
		農地	宅地 その他	計	床下 浸水	床上 浸水	計	
S39. 8. 24	台風 14 号	20		20	53	2	55	
S40. 9. 14~15	台風 24 号	1,503	320	1,823	5114	1,232	6,346	
S51. 9. 7~14	台風 17 号	312	408	720	5,734	841	6,575	
S55. 8. 28	豪雨	0	8	8	301	12	313	
S62. 10. 15~18	台風 19 号	0	4	4	173	13	186	
H2. 9. 11~20	台風 19 号	73	48.1	121.1	2,355	99	2,454	
H4. 8. 17~20	台風 11 号	4	0.6	4.6	30	0	30	
H9. 7. 25~29	台風 9 号	0	178	178	37	2	39	
H16. 10. 18~22	台風 23 号	0	66	66	34	2	36	

出典：水害統計

【汐入川水系】

汐入川流域では、近年大きな洪水被害が発生していない。

【大津茂川水系】

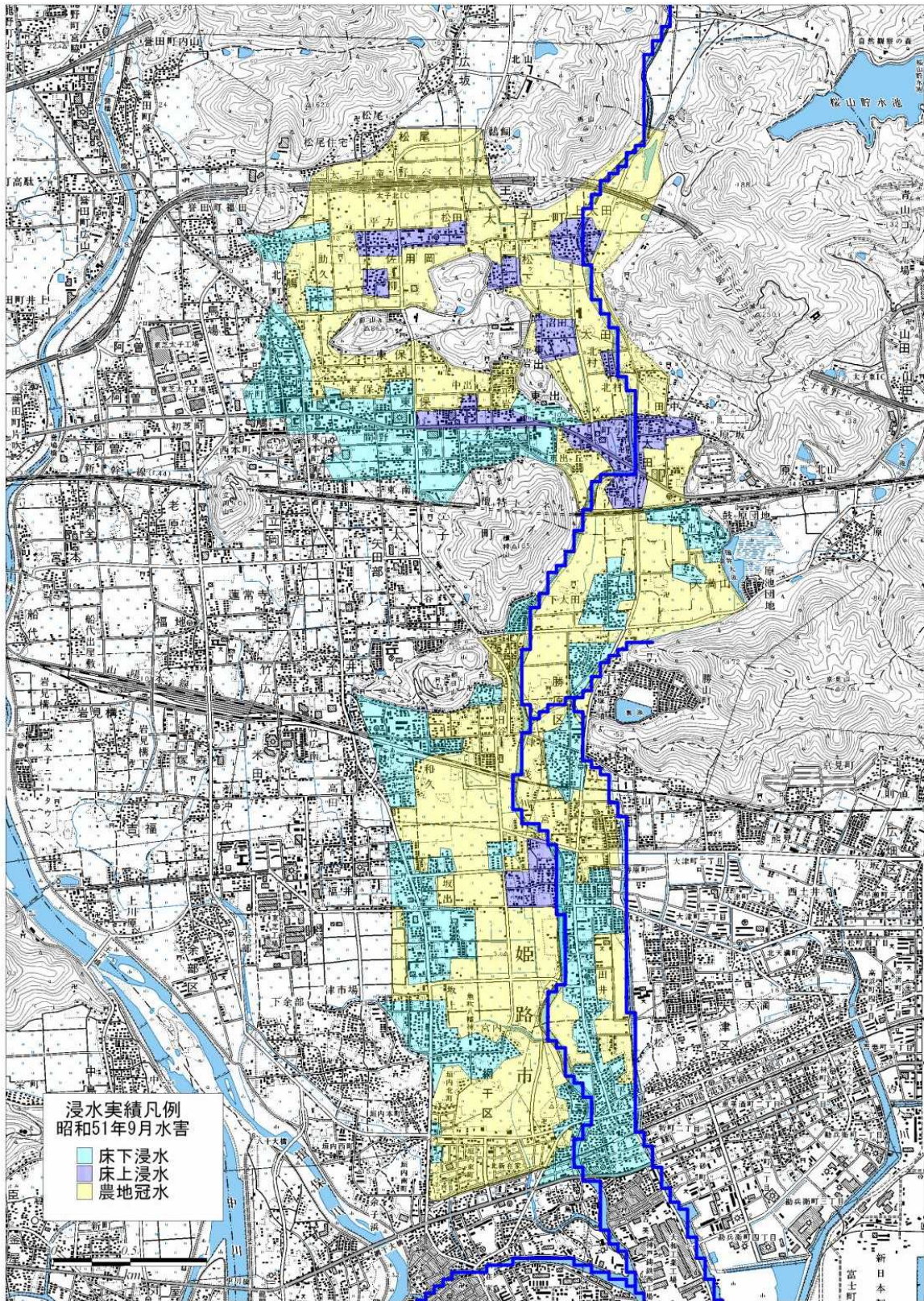
大津茂川水系で被害の大きかった洪水被害は、昭和 49 年 7 月の台風 8 号、昭和 51 年 9 月の台風 17 号の 2 洪水である。

上記洪水を契機に進められてきた河川改修の効果により、最近では目立った被害はほとんど見られない。

主要洪水の被害概要

年月日	異常気象名	浸水面積 (ha)			浸水家屋 (棟)			備考
		田	畑	計	床上浸水	床下浸水	計	
S46. 8. 30	台風 23 号	170	141	10	100	559	659	
S47. 9. 6	熱帯低気圧	379	305	15	450	1,513	1,963	
S49. 7. 7	台風 8 号	250	227	6	271	2,030	2,301	
S51. 9. 10	台風 17 号	350	147	8	1,055	1,565	2,620	

出典：大津茂川激甚災害対策特別緊急事業全体計画調書



※当時の宮田地点、^{よろ}丁地点は不明であるため、宮田橋と^{よろ}丁大橋を示した。

出典：大津茂川水系大津茂川浸水想定区域図作成業務報告書（平成17年度）
昭和51年9月洪水による実績浸水区域図